

今日の日の喜びを待ちきれなかった桜の樹々が、春を連れてきた役目を終えたかのように、舞い散る花びらで校庭のそこかしこを美しく覆っています。

この春爛漫の佳き日に、さいたま市教育委員会 副教育長 村瀬修一様、本校PTA会長 大塚成人様はじめ、御来賓の皆様の御臨席を賜り、また保護者の皆様の御出席をいただいて、平成二十八年度の入学式を挙行できますことは、本校職員一同この上ない喜びであり、深く感謝申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました二百四十八名の新入生の皆さん、保護者の皆様、入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

本校は昭和三十七年に創立され、この春で五十五年目を迎えました。「和敬信愛」を校訓とし、「目指す学校像」として「確かな学力と豊かな人間性を育て、グローバル化社会に適應できる生徒を育成する」ことを掲げながら、生徒一人ひとりを大切にす教育を実践しています。

ご存知のとおり、本校は三年後の平成三十一年度から、県内で初めてとなる中等教育学校に移行してゆきます。

中等教育学校とは、中学校に当たる前期課程と高等学校に当たる後期課程とを合わせて六年制とした、完全なる中高一貫教育校です。高校段階での入学はなく、全員が中学段階から入学します。そのため、大宮西高校生としては来年度の入学生が最後となります。皆さんが本校の三年生になる時には、一年生が入学して来ません。

本校がそんな大きな過渡期にあるにも関わらず、それでも大宮西高校で学びたい、大宮西高校で大切な高校生活を送りたい、そう考えてくださった皆さんを始めとする多くの受験生が本校を志望してくださいました。そして皆さんは、その高倍率をくぐり抜けて、本校への入学を果たしたわけです。

そうした皆さんの期待に、より良い学習環境を整えることで応えたいと考え、本校では昨年度から二つの取組を始めています。

一つは、三十人学級編制です。入学者選抜の結果として八人多く入学を許可いたしましたので、三十一人の八学級といたしました。これは一学年のみではなく、三年間を通じて実施する予定です。

教職員からの視点では、三十人学級は一人一人の生徒に目が届きやすいという大きなメリットがあります。また、本校新聞部の調査によれば、昨年入学した生徒の約八割が、三十人学級は良いという評価でもありました。

もう一つは、生徒海外研修における公費による補助金です。

本校は「市立高等学校『特色ある学校づくり』計画」に基づいて、グローバル化先進校としての取組を進めており、様々な機会を捉えて活発な国際交流を図っています。

中でも夏休み中の海外研修では、昨年からはオーストラリアとニュージーランドの二方面に、合わせて四十五人の生徒を派遣し、その渡航費等の一部として、参加生徒全員に、さいたま市から一人十万円の補助をいたしました。今年も同様の補助を予定しております。

他校にはないこうした魅力的な取り組みを進めていても、なお大宮西高校が中等教育学校に移行していくにあたって、色々と不安や懸念を抱くことがあるかも知れません。時には皆さんに不自由な思いをさせてしまう場面もあることでしょう。

しかし、私たち教職員一同は、今日この日から、大宮西高校を選んでくださった皆さんの期待に一丸となって応えます。皆さんの夢、希望、目標の創造と実現に向けて、できる限りの支援を惜しまない覚悟です。

もちろん頑張るのは皆さん自身です。皆さんの夢です。皆さんの希望です。皆さんの目標です。悩み、調べ、探し、考え、見つけ、努力して叶えるのは、ほかの誰でもない皆さん自身です。

今日から三年間、自分の夢を探し、希望を見つけ、目標を実現するという「自分探し」の旅を始める皆さんに、私から送るエールとして、二つの話をします。

一つめです。世の中はどんどん変化しています。その速さたるや、年々増すばかりです。そのため、今抱いている夢や希望や目標があっても、それがいつまでもそのままでも在り続けるとは限りません。むしろ、変化していくものだと考えておいた方がいいでしょう。

しかし、変化していく時に、易きに流れないこと。行き詰まったり、辛くなったりすると、心はつい逃げたくなります。楽を求めたくなります。時にはそれもいいでしょう。限られた時間の高校生活を、辛いだけで終わらせてはいけません。とは言え、楽をしてばかりいると慣れてしまいます。そして、気がつくと自分が夢見ていた未来とは、かけ離れたところに立つ自分に気づくことになるでしょう。そんなことにならないよう、自分の夢や希望を少しずつ具体化させながら、易きに流れないように充実した高校生活を送りましょう。

二つめです。世の中には自分の思い通りにならないことが多いものです。辛いことや悲しいことも、たくさんあるでしょう。でも、それらは一つ一つ、皆さんを成長させる糧になるものです。そうした試練を乗り越えることで、皆さんは間違いなく成長できるのです。

でも、一人で乗り越えるのが難しい時に、助けを求めることは恥ずかしいことではありません。辛い時には辛いと言いましょ。悲しい時には悲しいと言いましょ。家族にでもいい、友達にでもいい、先生にでもいい。一人で抱え込まないで、暗い思いが積み重なって、心と体を蝕む前に、誰かに「辛い」「悲しい」と言いましょ。必要な時には、我慢しないで「助けて」と言いましょ。

そして、逆にもしあなたが誰かに「辛い」「悲しい」「助けて」と言われたなら、真剣に受け止めてあげてください。そして、そのことを信頼できる大人に相談しようとしてアドバイスをあげてください。大人に相談することで、必ず良い方向に向かいます。大人には、あなた方より多くの経験と知恵があります。迷わずにそれを頼りましょ。

保護者の皆様、改めまして、お子様の御入学、誠におめでとうございませす。

高校時代は、お子様が大人になっていく上で、これまで以上に多くの知識を身に付け、経験を重ね、自ら考え自ら行動して、様々な課題に取り組み、これを解決していく姿勢と技量を養っていく鍛錬の時です。私たち教職員一同、我が子を育てる思いで、愛情を込め、

時に厳しさを持って、お子様の成長に力を尽くしてまいります。何卒、皆様の深い御理解と、温かい御協力をお願い申し上げます。

御来賓の皆様には、御多用のところ御臨席いただき、篤く御礼申し上げます。とりわけ地元自治会の皆様には、日ごろ本校生徒を地域で温かく見守っていただき、ありがとうございます。また、ロータリークラブの皆様には、本校国際交流の充実にご支援をいただき、感謝申し上げます。副教育長を始めとする御来賓の皆様には、今後とも本校の教育活動に対し、一方ならぬお力添えを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんの今後の成長と、それぞれの未来への飛躍を期待して、校長の式辞といたします。